

令和6年用乾燥秘伝(青大豆)病害虫防除基準

※乾燥秘伝(大豆)とえだまめでは、農薬は同じでも使用方法、時期が異なる場合がある。
 注意事項に登録の違いを掲載したので、使用前に確認すること。
 ※殺虫剤を散布する場合は、訪花昆虫に対する薬剤ごとの安全使用基準を徹底する。

発行：J A さ が え 西 村 山
 さ が え 西 村 山 野 菜 振 興 協 議 会

病害虫重点防除	＜乾燥秘伝の場合＞(だいず)								
	時 期	は	種 前	開 花 7 日 後	開 花 20 日 後	開 花 30 日 後			
	殺虫・殺菌剤	クルーザー FS30 クルーザー MAXX	のいずれかを塗沫処理する。	トレボン粉剤DL トレボン乳剤	のいずれか	スミチオン乳剤 スタークル粉剤DL	のいずれか	スミトップM粉剤 トップジンM水和剤	のいずれか

【病害虫防除】

作業	RAC コード	薬剤名	使用 方法		使用時期 収穫前日数	使用回数	対 象 病 害 虫										注 意 事 項	
			倍 率 (薬用/水10ℓ)	散布量(10a)			紫斑病	タネバエ	フスジ メハムシ	アブラ ムシ類	カメム シ類	ハスモン ヨトウ	マメシ クイガ	ダイズサ タマバエ	ハダニ類	ネキリ ムシ類		
播 種 前	4 A, 12, 4	クルーザーMAXX	乾燥種子1kg当たり原液8mlを塗沫処理する。	播種前	1	回	●	●	●	●						●	1. ハト、キジバト、茎疫病、黒根腐病にも登録がある。	
	4 A	クルーザーFS30	乾燥種子1kg当たり原液6mlを塗沫処理する。	播種前	1	回		●	●	●						●	1. 紫斑粒を取り除く等、無病種子を使用する。 2. クルーザーMAXX、クルーザーFS30の他に薬剤を処理する際は、先にこれらを処理し、よく乾燥させてから使用する。 ☆クルーザー剤の総使用回数は1回とする。	
	1 B	ダイアジノン粒剤5	10a当たり6kg 作付前：全面土壌混和又は作条土壌混和する。	30日前	5	回	※生育期の処理は4回以内		●								※●	※ネキリムシ類防除の場合は、土壌表面散布とする。 1. コガネムシ類幼虫にも登録がある。 2. 作物生育中は作条処理して軽く覆土する。
		ラグビーMC粒剤	10a当たり20kgを全面処理土壌混和する。	播種前	1	回												【ダイズシストセンチュウ】 1. 連作を避ける。 2. 同じ薬剤の連用をしない。
		ネマキック粒剤	10a当たり20kgを全面処理土壌混和する。	播種前	1	回												
は播 種前 前又	1 A	バイデットL粒剤 [Ⓜ]	10a当たり30kgを全面土壌混和する。 10a当たり6kgを作条土壌混和する。	播種前又 は定植前	1	回												
播 種 時	1 B	カルホス微粒剤F [Ⓜ]	10a当たり6kgを土壌表面散布土壌混和処理する。	播種時	2	回以内		●									●	1. ネキリムシ類の産卵を抑えるため、播種前から除草対策の徹底を図る。 2. タネバエの使用時期は「播種時」のみの登録のため注意する。 3. えだまめでは使用回数が1回である。
は播 種時 時又				播種時又 は定植時	2	回以内												
生 育 期		スミチオン乳剤	1,000倍(10ml)	100~300ℓ	21日前	4	回以内				●	●		●	●		1. ウコンノメイガ、シロイチモジマダラメイガにも登録がある。	
		オルトラン水和剤	1,000倍(10g)	100~300ℓ	60日前	3	回以内				●		●	●			1. えだまめでは使用時期が収穫21日前までである。	
	1 B, 1	スミトップM粉剤	10a当たり4kg散布する。	開花期~ 若莢期 但し21日前	4	回以内	●						●	●			1. シロイチモジマダラメイガにも登録がある。 ☆えだまめには登録がない。	
	3 A	トレボン乳剤	1,000倍(10ml)	100~300ℓ	14日前	2	回以内			●	●	●	●	●	●		1. ウコンノメイガ、シロイチモジマダラメイガにも登録がある。	
	3 A	トレボン粉剤DL	10a当たり4kg散布する。	14日前	2	回以内			●	●	●	●	●	●	●		1. シロイチモジマダラメイガにも登録がある。	
	4 A	スタークル粉剤DL	10a当たり3kg散布する。	7日前	2	回以内			●					●				
	28	ヨーバルフロアブル	5,000倍(2ml)	100~300ℓ	7日前	2	回以内							●	●			1. ウコンノメイガ、コガネムシ類にも登録がある。
	1	トップジンM水和剤	1,000倍(10g)	100~300ℓ	14日前	4	回以内	●										1. 菌核病にも登録がある。
	1	トップジンM粉剤DL	10a当たり4kg散布する。	14日前	4	回以内	●											☆えだまめには登録がない。
	10, 1	ゲッター水和剤	1,000倍(10g)	100~300ℓ	14日前	3	回以内	●										

☆エトフェンプロックスを含む剤(トレボン乳剤、トレボン粉剤DL)の総使用回数は2回以内とする。
 ☆MEPを含む剤(スミチオン乳剤、スミトップM粉剤)の総使用回数は4回以内とする。
 ☆ネオファネートメチルを含む剤(スミトップM粉剤、トップジンM水和剤、トップジンM粉剤DL、ゲッター水和剤)の総使用回数は4回以内とする。(種子への処理1回以内)
 ☆合成ピレスロイド剤は(トレボン乳剤、トレボン粉剤DL)蚕・魚類に対する毒性が特に強い。また、抵抗性害虫出現防止のため総使用回数は2回以内とする。
 ★農薬の使用にあたっては、使用回数に加え、有効成分ごとの総使用回数も定められているので遵守する。

成分名	RAC	農 薬 名	使用回数	同一成分 総使用回数	備 考	成分名	RAC	農 薬 名	使用回数	同一成分 総使用回数	備 考		
エトフェンプロックス	3A	トレボン乳剤	2回以内	2回以内		チオファネートメチル	1	トップジンM水和剤	4回以内	4回以内	種子への処理 1回以内		
		トレボン粉剤DL	2回以内					トップジンM粉剤DL	4回以内				
MEP	1B	スミチオン乳剤	4回以内	4回以内	1B,1		スミトップM粉剤	4回以内					
	1B,1	スミトップM粉剤	4回以内		10,1		ゲッター水和剤	3回以内					
チアメトキサム	4A,124	クルーザー MAXX	1 回	3回以内	は種子前の塗沫処理は合計1回以内								
	4A	クルーザー FS30	1 回										